4 「ご確認」画面が表示されたら、[はい]をクリックします。

5 画面右上の×をクリックし、画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

メモ ファイアウォールを再度有効にするには、パソコンを再起動してください。

セキュリティソフトを終了させるには

本製品とパソコンを無線で接続するときは、セキュリティソフトなどのファイアウォール機能を無効にする必要があります。次の手順でファイアウォール機能を無効にするか、一時終了させてください。手順は、セキュリティソフトによって異なります。

メモ 各セキュリティソフトについての詳細は、それぞれのソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

ウイルスバスター2008の場合

ウイルスバスター2008のパーソナルファイアウォール機能は、インストール時の初期設定で「有効」の状態になっております。インストール後にパーソナルファイアウォール機能の有効/無効を変更するには、以下の手順を実行します。

重要 パーソナルファイアウォール機能を有効にすることで、ファイアウォール機能がはたらき、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。インターネットへの接続設定が完了したら、再度、パーソナルファイアウォール機能を有効にしてください。

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[ウイルスバスター2008]－[ウイルスバスター2008を起動]を選択します。

2

メイン画面左側の[不正侵入対策/ネットワーク管理]をクリックします。

3 「パーソナルファイアウォール」欄にある[有効]をクリックします。

次のページへ続く

4 ファイアウォール機能が「無効」に切り替わったことを確認し、画面右上の×をクリックします。

以上で設定は完了です。

メモ ファイアウォールを再度有効にするには、上記の手順３で[無効]をクリックしてください。

Norton Internet Security 2008の場合

Norton Internet Security 2008のパーソナルファイアウォール機能は、インストール時の初期設定で「有効」の状態になっております。インストール後にパーソナルファイアウォール機能の有効/無効を変更するには、以下の手順を実行します。

重要 パーソナルファイアウォール機能を有効にすることで、ファイアウォール機能がはたらき、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。インターネットへの接続設定が完了したら、再度、パーソナルファイアウォール機能を有効にしてください。

1 [スタート]－[(すべての)プログラム]－[Norton Internet Security]－[Norton Internet Security]をクリックします。

2 [設定]をクリックします。

3 [Webセキュリティ]－[ファイアウォール]の順にクリックします。

4 [オフにする]をクリックします。

5 ファイアウォール機能を無効にする期間（例：1時間）を選択し、[OK]をクリックします。

6 「ファイアウォールがオフになりました」と表示されたら、×をクリックし、画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

メモ ファイアウォールを再度有効にするには、上記の手順5で設定した時間が経過するまで待つか、手順４の画面で[オンにする]をクリックしてください。

ウイルスセキュリティの場合

ウイルスセキュリティのパーソナルファイアウォール機能は、インストール時の初期設定で「有効」の状態になっております。インストール後にパーソナルファイアウォール機能の有効/無効を変更するには、以下の手順を実行します。

重要 パーソナルファイアウォール機能を有効にすることで、ファイアウォール機能がはたらき、ご利用のパソコンをクラッカーの攻撃や一部のウイルス感染から保護できます。インターネットへの接続設定が完了したら、再度、パーソナルファイアウォール機能を有効にしてください。

1 タスクトレイの アイコンを右クリックし、[設定とお知らせ]を選択します。

2 画面左の[不正侵入を防ぐ]をクリックします。

3 [完全に開放]をクリックします。

次のページへ続く